

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課	所属長名	樺田 高雄	電 話	483-1151 内線2210
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3818		事務事業名称	福祉センター維持管理事業					短縮コード	経常	3818	臨時	3819
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市福祉センターの設置及び管理に関する条例、八千代市福祉センターの設置及び管理に関する施行規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
市民の福祉の増進を図ることを目的に,昭和59年3月1日、福祉センター開設。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
地域福祉推進の拠点としての重要性が増している。					大項目（節）	02	社会福祉						
					中 項 目	06	地域ぐるみ福祉						
					小項目（施策）	01	人材・団体等の育成と活動支援						
					細 項 目	03	活動拠点の整備						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	○市民 ○60歳以上市民							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 壁掛けエアコンの購入							
	※平成19年度に計画していること： 安全上問題があり、また運営に支障をきたすような事故を未然に防ぐとともに、施設に修繕が必要な際には速やかに修繕を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	市民が安全にまた快適に施設を利用できることを目的とする。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	自主的・主体的に福祉活動ができるようにする。							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	人口	人	180,480	180,480	182,060	184,000	
	指標2	60歳以上の人口	人	43,177	43,177	43,730	44,000	
	指標3							
活動指標	指標1	修繕・工事回数	回	0	0	0	0	
	指標2	備品購入数	個	0	0	1	0	
	指標3							
成果指標	指標1	開館日数	日	347	347	347	347	
	指標2	発生事故件数	件	0	0	1	0	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3818	事務事業名称		福祉センター維持管理事業	所属名		健康福祉課
			単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	1,168		129		
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			委託料 226千円 工事請負費942千円	人件費のみ	備品購入費129千円	人件費のみ	
人件費 (B)			千円	558. 3	435. 5	1,306. 5	653. 2	
トータルコスト (A) + (B)			千円	1,726. 3	435. 5	1,435. 5	653. 2	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	改修工事等を行うことにより，利用者がより快適に施設を利用できるようになっている。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	施設は老朽化していくものであり、今後も修繕の必要性は減じない。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	市が所有している限りは同事業は市で負担すべきものである。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	事業内容に変更がないため。					
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	施設に重大なトラブルが発生する前に未然に予防措置を講じれば、将来発生するであろうコストを抑えるとともに、事故も未然に防止できる。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☒ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	メンテナンスの徹底、またその結果に基づく予防措置によって有効性・効率性の向上は可能。					
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☒ I T化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
			☐ 上記以外の方法						2
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある	予算上の問題					
			☐ ない						

コード	3818	事務事業名称	福祉センター維持管理事業				所属名	健康福祉課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			施設も老朽化してきていることから、今後修繕コストも増大することが考えられるが、そのコストを最低限度に抑えることができるようなそのメンテナンス、チェック体制が必要。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			施設老朽化によるコスト増	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
浴室の利用時間延長を求める声が多い。									

所属長コメント	指定管理者制度導入によるサービスの向上と運営の効率化を求めている。また、施設老朽化による機器・設備の改修が必要となり、維持管理費の増大に繋がる。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			施設のメンテナンス，予防措置を徹底することにより修繕経費の削減を図り，積極的に推進すべき。但し，費用対効果の検証が必要。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									